
内航海運業界の取組等について

～安定・効率輸送に向けた現状の取組と今後の取組～

令和6年8月26日

日本内航海運組合総連合会

内容

1. 内航タンカー業界が対応すべき課題
2. 現状の取組について
3. 今後の取組について
4. 国のご支援のお願い
5. 荷主業界へのお願い

1. 内航タンカー業界が対応すべき課題

内航海運業界が対応すべき課題

安定輸送の確保

- 船舶の維持・確保
 - ・ 必要船腹量の確保
 - ・ 老朽船の代替・大型化・効率化
- 船員の維持・確保
 - ・ 新規船員の確保
 - ・ 働き方改革に対応した船員数の確保
- 運航コスト増への対応

社会的変化への対応

- ・ カーボンニュートラル

石油輸送特有の課題

- ・ 輸送需要の変動に左右されない高いレベルの安定供給体制の確保
- ・ タンカー船員は貨物船船員に比べ高度な技術・資格が必要
- ・ 石油製品の厳しい品質管理への対応の必要性
- ・ 荷役を船員が行わなければならない
労働時間が貨物船と比べて長い

2. 現状の取組について(① 業界としての取組)

船舶の維持・確保

- 船舶建造の推進のための税制優遇維持の要望(特償、買換特例、中促等)
- 鉄道運輸機構による共有建造制度の維持・拡大
- 省エネ船、カーボンニュートラル燃料船、自動運航船等の技術開発への支援

若年船員確保事業の推進

- SNSを活用した内航海運の広報活動
- 船員養成施設以外の卒業生等の六級海技士資格取得支援(今年度から奨学金制度)
- 海運組合等の船員確保事業の支援(船員確保チャレンジ事業)
- 船員養成施設への組合所属会社と学校訪問、オープンキャンパス等への卒業生船員派遣
- 船員養成施設生徒・学生の内航タンカー船見学会(計画中)
- 若年船員採用のための内航タンカーPR動画制作

労働時間削減と労働環境改善

- 新造船における自動荷役装置・遠隔監視操作システム等の搭載船建造を推進
- 船員の定着率向上に向けたセミナー、労務管理責任者講習等の実施

2. 現状の取組について(② 内航海運業者としての取組例)

船舶の維持・確保

- 建造計画についての荷主様と協議
- 計画に基づく新造船の建造・老朽船の代替
- これに伴う必要船員の確保

船員採用の拡大

- 船員養成施設出身者以外の積極的な採用活動
- SNSを活用した内航タンカーのPR活動
- オペレーターによるオーナーの船員不足支援(積極的な新人採用に対する費用支援)

労働時間削減と労働環境改善

- 新造船における自動荷役装置搭載の採用
- 荷役責任者である一等航海士を荷役に専念させ、航海のための次席一等航海士を追加乗船
- 船員の休暇サイクルの短期化

3. 今後の取組について

① 安定輸送に向けて

- 輸送需要の変動に対応できる船腹量の確保を図る
- 魅力ある職場作りや働き方改革を進める
- 労働環境改善のための設備の整備等
- 運航計画や荷役体制の見直し等、荷主の理解が必要な事項が増加

② 社会的要請に応じるため

- カーボンニュートラルに対応した新たな燃料船の導入等が必要

そのために

荷主業界と内航海運業界との協力
実現に向けた国の支援や規制緩和が必要

4. 国のご支援のお願い

② 船舶の建造への支援

内航船舶建造に係る税制（特別償却制度・買換特例制度・中小企業投資促進税制）の維持

内航船舶については、中小零細企業が大宗を占めるという業界の特殊性や、海運における環境対応等の観点に鑑みた税制特例措置が講じられており、内航海運において必要不可欠な制度となっている。引き続きの制度の維持をお願いしたい。

船舶共有建造事業における金利優遇措置の継続

共有建造制度は、代替建造の促進に繋がる制度で、中小零細企業である内航海運業者にとって安定した経営にも資するものであり、その維持をお願いしたい。

輸送の効率化、環境負荷低減等のための技術開発・実証に対する支援

内航海運業者の多くは事業基盤が弱く、技術開発や実証実験等を行うための投資を行うことが困難である。このため、輸送の効率化、環境負荷低減等に向けては、これらに取り組む事業者への支援をお願いしたい。

5. 荷主業界へのお願い

船舶の建造・老朽船の代替へのご協力、陸上荷役設備等の増強

船員の働き方改革の下で、安定輸送を確保していくため、適正な船腹量を確保するとともに輸送の効率化を図るための船舶建造についてご理解を頂きたい。また、荷役時間削減に向けて、陸上施設のポンプ能力等の増強をお願いしたい。

船舶設備の近代化・遠隔化・自動化に伴う、船員の省人化の検討

船舶所有者が、船舶の近代化を行い省人化を図るのに合わせ、荷役の安全を確保しつつ、設備の近代化等に伴う船員の省人化、労務負担軽減を図って頂きたい。

内航タンカー船見学会への協賛

仮バースにおける学生等に対するタンカー船見学会への、傭船船舶の提供等ご協賛を頂きたい。

気候変動・温暖化に合わせた荷役の在り方に関する配慮

船上での荷役作業は直射日光と甲板からの照り返しに晒され、過酷で常に熱中症の危険があり、気温が一定温度を超える場合は、荷役を中止または、何らかの対策を行って頂きたい。